

非上場株式の評価をめぐる
税務上の留意点を総合点検

非上場株式の評価と
個人オーナーを巡るその活用

- ☆ 非上場株式の評価の基礎から徹底解説
- ☆ 取引相場のない株式の譲渡を徹底解説
- ☆ 売却サイド・購入サイドを巡る課税関係を徹底解説

A	11月22日(水)	非上場株式の評価
B	11月30日(木)	個人オーナーを巡る非上場株式の移転に伴う税務

両日ご出席されれば相続税の申告業務を行う上での知識を習得出来ます。
また、どちらかご興味のある方のみを受講していただくことも可能です。

非上場株式の評価は相続時の課税評価だけでなく、株式の売却・贈与を検討するオーナー企業の事業承継でも重要な税務になっております。

そこで、当セミナーは、非上場株式の評価と個人オーナーをめぐる税務について2日間で網羅的かつ効率的に解説し、各位の不足する部分を補うとともにスキルアップを図ります。

諸先生はもちろん、貴事務所職員方にもこれまで以上のスキルアップを図れる内容となっておりますので、どうぞ多数受講されますようご案内申し上げます。

開催要領

	A		B	
タイトル	非上場株式の評価		個人オーナーを巡る非上場株式の移転に伴う税務	
日時	11月22日(水) 10:00~16:30		11月30日(木) 10:00~16:30	
会場	ソニックシティビル6F			
	602号室		603号室	
	さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL:048-647-4111			
1名様 (資料・昼食等 税含む)	一講座受講の場合	二講座受講の場合	備考	
	会員	25,000	40,000	※二講座受講の場合や一講座二名様受講の場合、クーポンは二枚必要です。
	読者	29,000	49,000	
一般	39,000	59,000		
申込方法	申込書にご記入の上、FAXにてお申込みください。折り返し、請求書と受講票を送付いたします。当日受付までご持参ください。			
備考	欠席の場合は、開催日前日までにご連絡ください。受講料の返金の際の振込手数料はお客様負担となります。当日欠席の場合、返金は致しかねますのでご了承ください。			
申込先	FAX、HPともに下記をご参照ください。			

講師紹介

税理士

千葉商科大学客員教授
与良 秀雄氏

[略歴]

国税庁資産課税課課長補佐、川越税務署副署長、日立税務署署長、関東信越国税局課税1部次長、関東信越国税局徴収部部長を歴任。平成28年退官後、税理士登録し現在に至る。国税庁時代には譲渡所得に関する通達発遣に従事している。
[主な著書]

「所得税基本通達逐条解説」「租税特別措置法通達(譲渡所得、山林所得関係)逐条解説」、「土地収用法・都市計画法と税務」、「問答式 株式譲渡益課税のすべて」、「やさしい譲渡所得」(以上、大蔵財務協会)など。

主な研修内容

A 11月22日 非上場株式の評価

I 非上場株式の評価

1 非上場株式の評価のあらましとこれまでの改正の経緯

2 会社規模区分の判定

①従業員、取引金額、総資産価額

②業種目

3 原則的評価方式と特例的評価方式の判定

①同族株主、中心的同族株主の定義

②議決権割合

4 類似業種比準方式

①あらまし

②類似業種の株価、1株当たりの配当金額等

③評価会社の1株当たりの配当金額等

5 純資産価額方式

①あらまし

②相続税評価額と帳簿価額

③評価差額に対する法人税額等に相当する金額

6 特定の評価会社の評価

①比準要素1の会社

②株式保有特定会社

③土地保有特定会社

④医療法人の出資の評価

⑤その他

7 特例的評価方式(配当還元方式)

講義の進捗状況により、日をまたいでスライドする可能性があります

両日とも筆記用具、電卓をお持ちください

主な研修内容

B 11月30日 個人オーナーを巡る非上場株式の移転に伴う税務

Ⅱ 個人オーナーを巡る非上場株式の移転に伴う税務

- 1 財産評価基本通達に基づく非上場株式の評価と所得税等における時価の関係
- 2 個人が個人に非上場株式を売却した場合
 - ①売却サイドを巡る課税関係
 - ②購入サイドを巡る課税関係
- 3 個人が法人に非上場株式を売却した場合
 - ①売却サイドを巡る課税関係
 - ②購入サイドを巡る課税関係
 - ③自己株式の取得の場合の課税関係
- 4 個人が個人に非上場株式を贈与した場合
 - ①贈与者サイドの課税関係
 - ②受贈者サイドの課税関係
- 5 個人が法人に非上場株式を贈与した場合
 - ①贈与者サイドの課税関係
 - ②受贈者サイドの課税関係
- 6 非上場株式に係る相続税・贈与税の納税猶予の特例(非上場会社、医療法人)
 - ①あらし
 - ②適用に当たっての留意点
- 7 国外転出時課税制度
 - ①あらし
 - ②適用に当たっての留意点

講義の進捗状況により、日をまたいでスライドする可能性があります

両日とも筆記用具、電卓をお持ちください

